

導入事例 ⑤

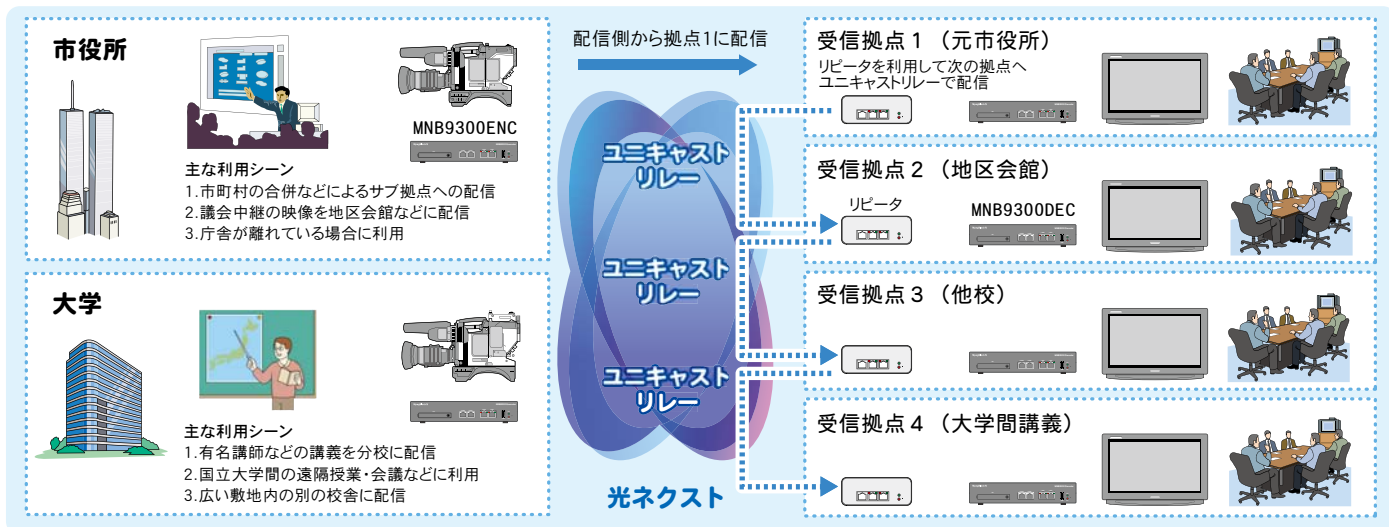
遠隔会議や遠隔授業に利用

●地方自治体の遠隔会議や大学間での遠隔授業などに利用

最近、各市町村の合併が増えています。合併前の市役所や会館などはエリアの拡大ですぐに壊さずに残すケースが多く、合併後には中心になる市役所から合併後の元市役所などに、議会の映像を遠隔で一斉に中継することが増えてきております。クボテックのシステムは公共回線(光ネクストなど)を利用できる事から様々な市町村で利用され始めています。また、衛星などを利用して日本全国の会館などに配信する場合でも配信箇所からアップリンクセンターまでのラストワンマイルで多く利用されております。

KUBOTEK製品を利用した導入事例（遠隔会議・授業を配信）

受信拠点が多い場合でもリピータを利用する事でランニングコストを抑える事ができます。

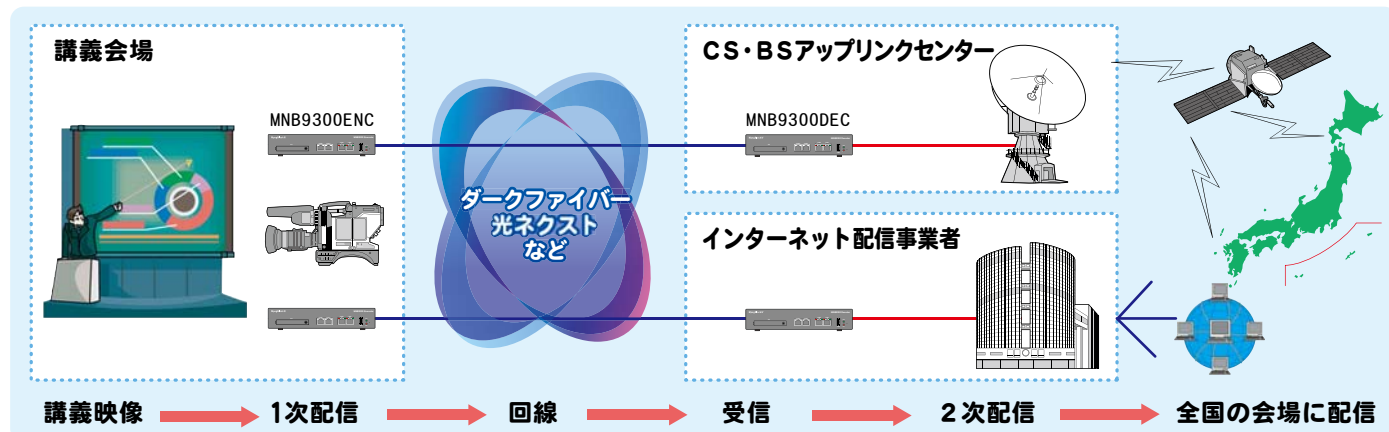


● IP伝送のメリット

1. リピータのユニキャストリレーを行う事で、配信拠点側に巨大なバックボーンを用意する事無く低コストに各地へ一斉配信が可能です。
2. 講義が始まる前に機器のスイッチをONするだけで配信を行えますので、映像制作会社等に中継を依頼する必要がなく余計な人権費を削減できます。
3. 高画質なH.264を採用しており、大型モニターで表示した場合でも顔や文字等もはっきりと表示する事が可能です。

Mpeg Block IV製品を利用した導入事例（ラストワンマイル）

今まで手が届かなかったラストワンマイルもクボテック製品を利用して解決。



● IP伝送のメリット

1. ダークファイバーや光ネクストなどを利用して、低コストにラストワンマイルの配信が実現可能になります。
2. 2次配信には、他の圧縮方式などを利用して384Kbps～4Mbpsなどの低レートで配信を行いますが、1次配信側は8Mbpsの高画質で伝送する事が可能ですので、映像品質の劣化が少なく2次配信側までの間の伝送が行えます。